

〔国際会議発表〕

発表研究者	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 博士課程 榛葉 健太	2152005
参加会議	ISSCR 2015 Annual Meeting	
出張期間	2015年6月23日～6月29日	
開催場所	ストックホルム スウェーデン	
発表論文	In Vitro Monitoring of Human iPS Cell-Derived Neuron Growth with a Microfabricated Device 集積化培養デバイスを用いたヒト iPS 細胞由来ニューロンの成熟過程評価	

概要：

International Society for Stem Cell Research (ISSCR) Annual Meeting は、再生医療・幹細胞生物学分野において最も権威のある国際会議である。会議に参加する目的は、研究成果を発表し、幅広い分野の研究者と議論を行うことで、研究をさらに発展させることである。本会議は、大学や研究所に所属する研究者のみではなく、多くの医療従事者や技術者が世界中から参加する。そのため、多能性幹細胞の特性に詳しい生物学分野の研究者に加えて、工学分野の研究者・技術者や医療従事者との情報交換や議論を行うことが期待でき、発表を行う意義は大きい。

今回、マイクロ加工技術により作製した計測デバイスを用いたヒト iPS 細胞由来ニューロンの活動計測方法と、本手法によって取得した発達過程における活動の変化についてのポスター発表を行った。本研究では、開発したデバイスを用いて従来とは異なる部位から活動計測を行ったものの、デバイスの構造や特性については、共通の理解があった。今回、生物学・医学系の本会議に参加し発表を行うことで、これまで前提としてきたことに対しても多くの質問を受け、今後研究をまとめるうえで非常に有意義であった。また、講演の聴講を通して、最近の研究動向の調査が出来たことも収穫であった。以上のことから、本国際会議に参加し発表を行うことで得られた経験は、今後研究を発展させる上で、大変意義深いものとなった。